

田村の家族たち

両親、祖父母の出来事と
キリスト教文化からの視点

田村明-周辺の紹介
「まちづくり」から「市民政府」に
展開させた背景と深層

田村幸次郎(祖父):
宮大工、**仕事中に転落死**
幸太郎(父):
梅津家へ養子

1. 実の母親を知らず
2. 養父のお蔭で当時
としては破格の中学へ
3. 青春期に家庭騒動
4. 田村姓に帰る
5. **キリスト教村上教会へ**
6. 上海行きのお機会
7. **愛子(忠子の姉)と**
事件絡みで遭遇
8. 内村鑑三との
「出会い」

吉田亀太郎(祖父):
化学の勉強(石油精製)新潟
の職場の隣にパーム
牧師住居

1. **パーム牧師との**
「出会い」、開拓伝
道師の道へ

石黒まち(祖母):
著名な油屋の娘

1. 家の倒産で苦境
2. **キリスト教新潟教会へ**
3. **パーム牧師との**
「出会い」から横浜共立
女子に寄宿生

忠子(母):5女として

1. 相馬中村は当時、まだ**辺境**、**キリスト**
教を受け入れる要素は非常に弱い。
2. **激しいイジメを受ける**
3. 浦和の教会へ、
4. **婚約者の他界で失意**

寶田一蔵、愛子の仲人で**幸太郎、忠子結婚**

1917 NCR就職

1920 幸太郎 忠子 結婚

軍拡と大正デモクラシー

株価大暴落 1920

1921 忠幸誕生 大正10

田村家の誕生 「子育て」と「戦争」

ソ連誕生 1922

1923 義也誕生 大正12

金融不安と戦争準備

関東大震災 1923

1929 田村シン(幸太郎姪)

世界大恐慌 1929

1930 千尋誕生 昭和5

1933 玉成保母養成所で
保母資格取得

満州侵攻 1933

1937 青山学院緑ヶ岡幼稚園
にて保母主任

日中戦争 1937

1938 青山学院:商学部 入学

1939 慶応義塾大学予科 入

世界第二次大戦開戦 1941/12/

1940 NCR経営停止命令、退職、学

兵役と戦場

東京大空襲 1945/3/10

1944 幼稚園閉園で退職 1944 静岡高校旧制 入学

横浜大空襲

青山学院 商学部 卒業

1944 日本特殊鋼に
勤労働員

焼夷弾と爆弾、 憲兵による監察

1945

1942 出征:スマトラ派遣

1945 いすゞ自動車に
勤労働員

広島、長崎原子爆

正(学徒動員) 特殊潜行艇

世界第二次大戦敗戦 1945/8/15

1945 除隊 帰宅

1946 除隊:帰宅

世界第二次大戦敗戦 1945/8/15

1946 幸太郎 GHQのCCDに就職

1946 義也 慶大経済学部 復学

新円切り替え 1946/2/16

1946 忠幸 除隊帰宅

1947 明 静高旧制 卒業

ラウ物資の日本支援 1946/11

1946 忠子 GHQパークホテルとして勤務

1947 東京大学 工学部建築学科 入学

極東軍事裁判

食糧難と財政難

1948 千尋 都立理工専旧制 機械科 入学

下山、三鷹、松川

1949 草月流の師範

1949 岩波書店

中華人民共和国 建国 1949/10/1

初期の頃はパークホテルで、後、知人を介し、また近傍の人たちとも

1950 東大 工学部建築学科 卒業

朝鮮戦争勃発 1950

東大 法学部 入学

サンフランシスコ平和条約 1947~1960

幸太郎、忠子、忠幸、明、千尋は矢内原忠雄の聖書講義に参加、(明は大阪では黒崎幸吉の聖書講義に参加)

工学部化学科 入学

GHQ廃止

テレビ

ビキニ水爆実験

化学(医薬)

新日米安全保障条約 1960/1/19

1954~63 日本生命 不動産部

1957 三共(医薬)、阪大内地留学

ケネディー大統領 1961

東海道新幹線 1964/10/1

1955 NCR定年退職、セールスプロモーションビューロ(産業能率大学)専務理事として各地でセールスマン教育の講演をして歩く

東京オリンピック 1964

1960/5 斉藤眞生子と結婚

1960/11 永木能子と結婚

1961 他界

1966 大島久美子と結婚

「戦後の混乱期」と「高度成長期」へ

矢内原忠雄の言葉

- 戦後すぐに聖書講義の集会を内村鑑三ゆかりの今井館で矢内原忠雄が聖書講義を始めた。
- 「平和はもたらされた、これまではキリスト教は弾圧の歴史だった、これからは真の信仰を忘れた冠婚葬祭だけのためのキリスト教にならないようにと言う**祈り**だ」。

「展開」と「実り」

ケネディー大統領 1961
国産原子炉1号点火 1962
キューバ危機 1962
東海道新幹線 1964/10/1
東京オリンピック
三島由紀夫割腹自殺 1970
公害問題 ca.1972~
沖縄施政権返還 1972

1961 幸太郎 他界

1962 忠子
絵画(油絵)始める

1963 ~8 明 環境開発センター

1965 義也 雑誌「世界」編集長

1964 千尋 国際天然物会議でテロトキシンの構造決定発表

1964~66 イリノイ大学シム教授のポストドック

1962~1986 月一度の家庭集会、母を中心に聖書を読み担当者が解説する会。担当は 忠幸、明、千尋

特殊部落問題で、岩波受理せず

三島由紀夫割腹自殺 1970

1970 日本文学界・雑誌「世界」で二高事件を無視、岩波受理せず

1971 横浜市企画調整局長

1974 抗高脂質薬メバロチン前駆物質の構造決定

1971 忠幸 荏原インフィルコにて荏原ユーザライト立ち上げ

1977 建築学会賞

1977 銀座えり円で個展(80歳)

1978 横浜市技監

1981 横浜市退職、法政大学教授

1981 荏原ユーザライト退職

オウム、サリン事件 1995/1/17

1982 再度、銀座えり円で個展(85歳)

1983 岩波退職:本の装丁家として自立

都市計画学会論文賞、環境庁長官特別賞など

まちづくり協会、横浜街づくり塾、現代街づくり塾、など

1984 他界

1995 三共退職メバロチン発売(単品売り上げ、世界一)、

アメリカ同時多発テロ 2001/9/11

漢字一文字から読み解く作品への 著者(ら)の思いを探る

	祈	信	言	行	人
明	0	45	607	842	842
こころ(漱石)	2	51	135	213	358
我が輩は、、(“)	2	39	140	288	654
創世記	8	2	211	143	264
マタイ伝	8	2	398	151	440
ヨハネ伝	2	86	397	130	318
ロマ書	6	65	59	48	135

「展開」と「実り」

ケネディー大統領 1961
国産原子炉1号点火 1962
キューバ危機 1962
東海道新幹線 1964/10/1
東京オリンピック
三島由紀夫割腹自殺 1970
公害問題 ca.1972~
沖縄施政権返還 1972

1961 幸太郎 他界

1962 忠子
絵画(油絵)始める

1963 ~8 明 環境開発センター

1964 千尋 国際天然物会議でテロトキシンの構造決定発表

1965 義也 雑誌「世界」編集長

1964~66 イリノイ大学シム教授のポストドック

1962~1986 月一度の家庭集会、母を中心に聖書を読み担当者が解説する会。担当は 忠幸、明、千尋

特殊部落問題で、岩波受理せず

三島由紀夫割腹自殺 1970

1970 日本文学界・雑誌「世界」二高事件を無視、岩波受理せず

1974 抗高脂質薬メバロチン前駆物質の構造決定

1971 横浜市企画調整局長

1971 忠幸 荏原インフィルコにて荏原ユーザライト立ち上げ

1975 千尋の次男、幸生 他界

1977 銀座えり円で個展(80歳)

1977 建築学会賞

1978 横浜市技監

1981 横浜市退職、法政大学教授

1981 荏原ユーザライト退職

オウム、サリン事件 1995/1/17

1983 岩波退職:本の装丁家として自立

1982 再度、銀座えり円で個展(85歳)

都市計画学会論文賞、環境庁長官特別賞など

まちづくり協会、横浜街づくり塾、現代街づくり塾、など

1984 他界
1995 三共退職メバロチン発売(単品売り上げ、世界一)、

アメリカ同時多発テロ 2001/9/11

田村幸生^{ゆきお}くんとのおわかれの会^{かい}

おわかれの会

そうがく

田村久美子

しかい

田村 忠幸

ししき

田村 明

一、そうがく

二、さんびか四五八（ふたたび主イエスの）

田村 家族

三、ゆきおくんの生^{うま}れてからのこと

田村 義也

四、おわかれのことば

せいとだいひょう

田村 ひろし
矢島 先生
内田 先生

五、ゆきおくんを天国^{てんごく}におくることば

田村 明

六、おいのり

田村 明

七、あいさつ

田村 千尋^{ちひろ}

八、さんびか四〇五（かみともにいまして）

一 同

九、おわかれ（ゆきおくんを花でおくろう）

一 同

恩恵の露(富士山頂の霧)も滴りて、その麓に居る二流(白川と黒川)の
二流(白川と黒川)も、海を渡りて、その西なるものは海を
大(シベリア)の麓(シベリア)に降りて、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を
大洋(大西洋)に渡り、その西なるものは海を

内村鑑三先生の「初夢」 回村を記す

恩恵(めぐみ)の露、富士山頂に降り、滴(したた)りてその麓を
うるおし、溢れて東西の二流となり、その西なるものは海を
渡り、長白山(ちようはくさん)を洗い、崑崙山(こんろんざん)
を浸し、天山、ヒマラヤの麓に灌漑(みづそそ)ぎ、ユダの曠野
(あれの)に至りて尽きぬ。その東なるものは大洋を横断し、
ロッキアの麓に黄金崇拜の火を滅し、ミシシッピ、ハドソ
ンの岸に神の聖殿(みや)を潔め、大西洋の水に合して消えん。
アルプスの嶺はこれを見て曙(あけぼの)の星とともに声を放ち
て謡(うた)い、サハラ(さふらん)の砂漠は喜びで蕃紅(さふらん)の花のご
とく咲き、こうして水が大洋を覆うごとく主を知るの知識は
全地に充ち、この世は化してキリストの王国となれり。われ
睡眠(ねむり)より覚め、独(ひとり)り大声にて叫びうたう、
「アーメン、慈(し)かあれ天に成るごとく地にも成らせた
まえ」と

父の書、1955年、頃、
内村鑑三の「初夢」

母の絵、1915年頃右、1965年頃左



吉田龜太郎追憶集
東北拓殖開拓記



東北拓殖開拓記

吉田龜太郎追憶集

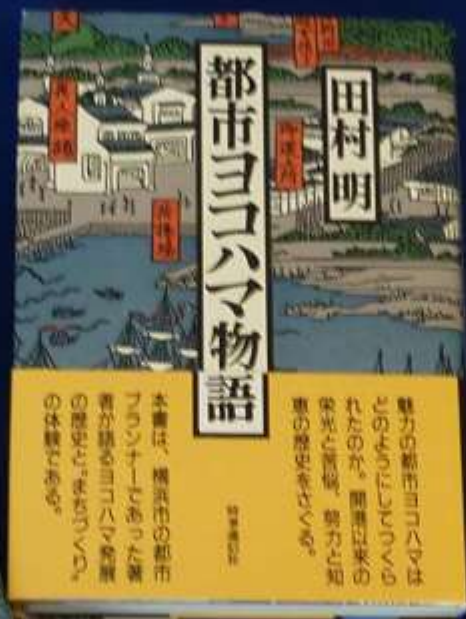
樺の下社

田村忠幸編：
吉田龜太郎追憶集
— 2005



田村義也の
世界

田村明 と 「まちづくり」





SEA OF GALILEE



Handwritten text in a cursive script, possibly Tibetan or Nepali, located at the top left of the lower page.

BARO DZONG

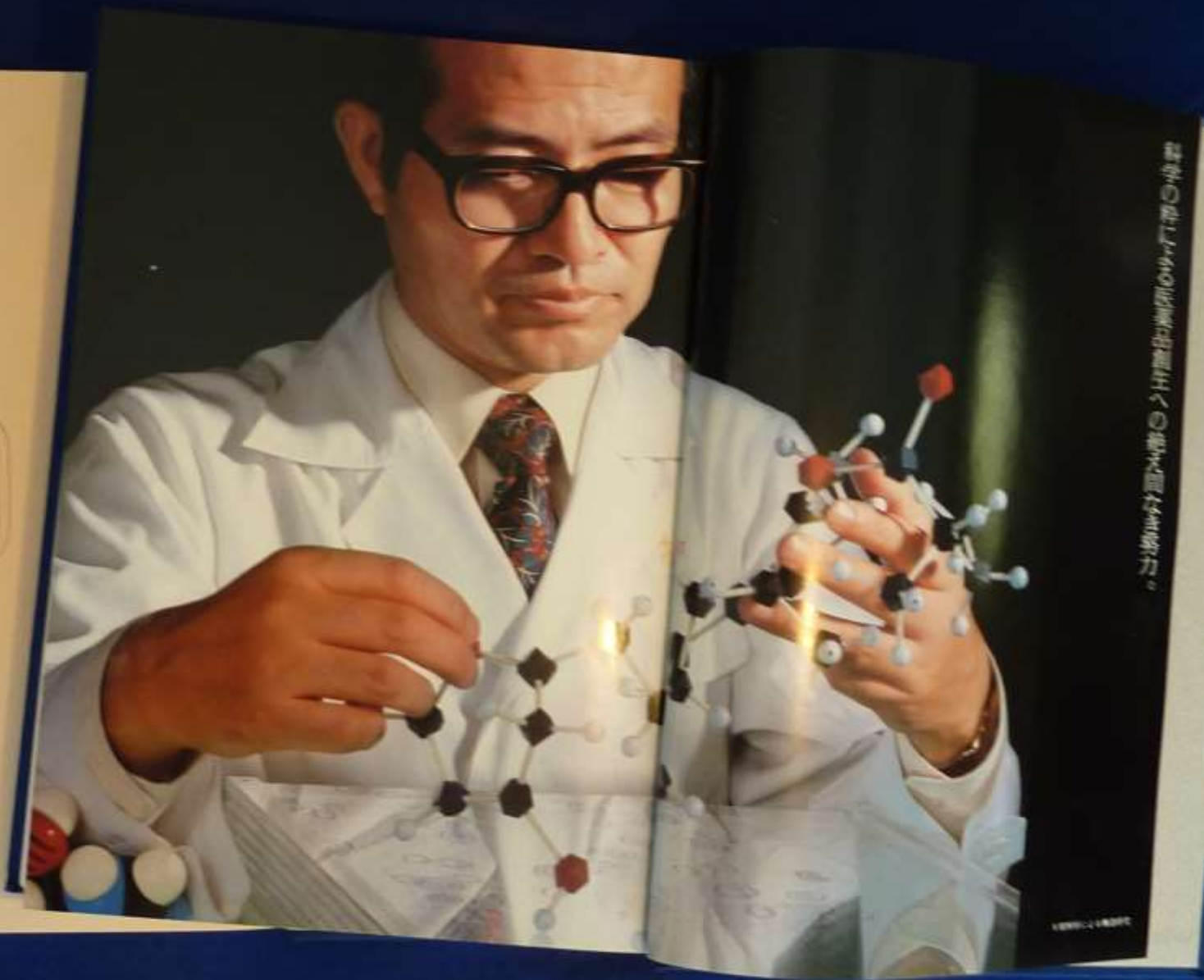


BAB AL YEMEN

2002.12.9

三共八十年史

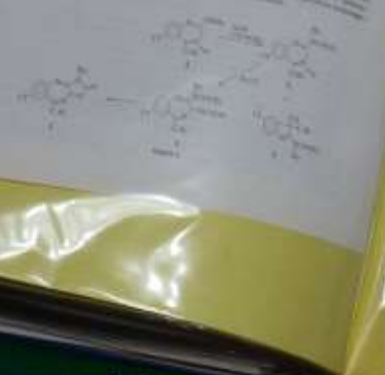
80



田村千尋 と 分子構造

Journal of Polymer Science: Polymer Chemistry Edition
 Vol. 10, 1001-1010 (1972)
 Copyright © 1972 by John Wiley & Sons, Inc.

The synthesis of poly(2-vinylpyridine) (P2VP) and its copolymers with styrene (P2VP-St) and acrylonitrile (P2VP-AN) has been studied. The copolymers were prepared by free-radical polymerization in benzene at 60°C. The copolymer compositions were determined by elemental analysis and infrared spectroscopy. The copolymers were found to be random copolymers. The glass transition temperatures (T_g) of the copolymers were determined by differential scanning calorimetry (DSC). The T_g values of the copolymers were found to be intermediate between those of the homopolymers. The copolymers were found to be more flexible than the homopolymers. The copolymers were found to be more soluble in common solvents than the homopolymers.



Journal of Polymer Science: Polymer Chemistry Edition
 Vol. 10, 1011-1020 (1972)
 Copyright © 1972 by John Wiley & Sons, Inc.

The synthesis of poly(2-vinylpyridine) (P2VP) and its copolymers with styrene (P2VP-St) and acrylonitrile (P2VP-AN) has been studied. The copolymers were prepared by free-radical polymerization in benzene at 60°C. The copolymer compositions were determined by elemental analysis and infrared spectroscopy. The copolymers were found to be random copolymers. The glass transition temperatures (T_g) of the copolymers were determined by differential scanning calorimetry (DSC). The T_g values of the copolymers were found to be intermediate between those of the homopolymers. The copolymers were found to be more flexible than the homopolymers. The copolymers were found to be more soluble in common solvents than the homopolymers.

The copolymers were found to be more flexible than the homopolymers. The copolymers were found to be more soluble in common solvents than the homopolymers. The copolymers were found to be more flexible than the homopolymers. The copolymers were found to be more soluble in common solvents than the homopolymers.

The Crystal Structures of Diacetylenes. II. Diacetylenes with a Substituted End Group

By G. G. Zakharenko, V. I. Zakharenko, and V. I. Zakharenko
 Institute for Physical Chemistry, Academy of Sciences of the USSR, Moscow, USSR

The crystal structures of diacetylenes with a substituted end group have been studied. The structures were determined by X-ray diffraction. The structures were found to be similar to those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more complex than those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more flexible than those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more soluble in common solvents than those of the parent diacetylenes.

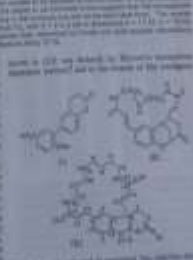


The crystal structures of diacetylenes with a substituted end group have been studied. The structures were determined by X-ray diffraction. The structures were found to be similar to those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more complex than those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more flexible than those of the parent diacetylenes. The structures were found to be more soluble in common solvents than those of the parent diacetylenes.

Molecular Crystallization. Part 5. A New Type of Crystallization. A Study of the Crystallization of Poly(2-vinylpyridine)

By G. G. Zakharenko, V. I. Zakharenko, and V. I. Zakharenko
 Institute for Physical Chemistry, Academy of Sciences of the USSR, Moscow, USSR

The molecular crystallization of poly(2-vinylpyridine) (P2VP) has been studied. The crystallization was studied by X-ray diffraction. The crystallization was found to be a new type of crystallization. The crystallization was found to be more complex than the usual crystallization. The crystallization was found to be more flexible than the usual crystallization. The crystallization was found to be more soluble in common solvents than the usual crystallization.



The molecular crystallization of poly(2-vinylpyridine) (P2VP) has been studied. The crystallization was studied by X-ray diffraction. The crystallization was found to be a new type of crystallization. The crystallization was found to be more complex than the usual crystallization. The crystallization was found to be more flexible than the usual crystallization. The crystallization was found to be more soluble in common solvents than the usual crystallization.

「祈る」

人間は祈ることを知った動物

- 誰に、
石に？ 大木に？ 動物に？ 人に？
- 何処に、
空に？ 地に？ 海に？ 北に？ 神社仏閣に？
- 何を、
健康を？ 平和を？ 健闘を？ 無事を？
- どうして、
本人の為に、自分の為に、皆の為に、世界の為に

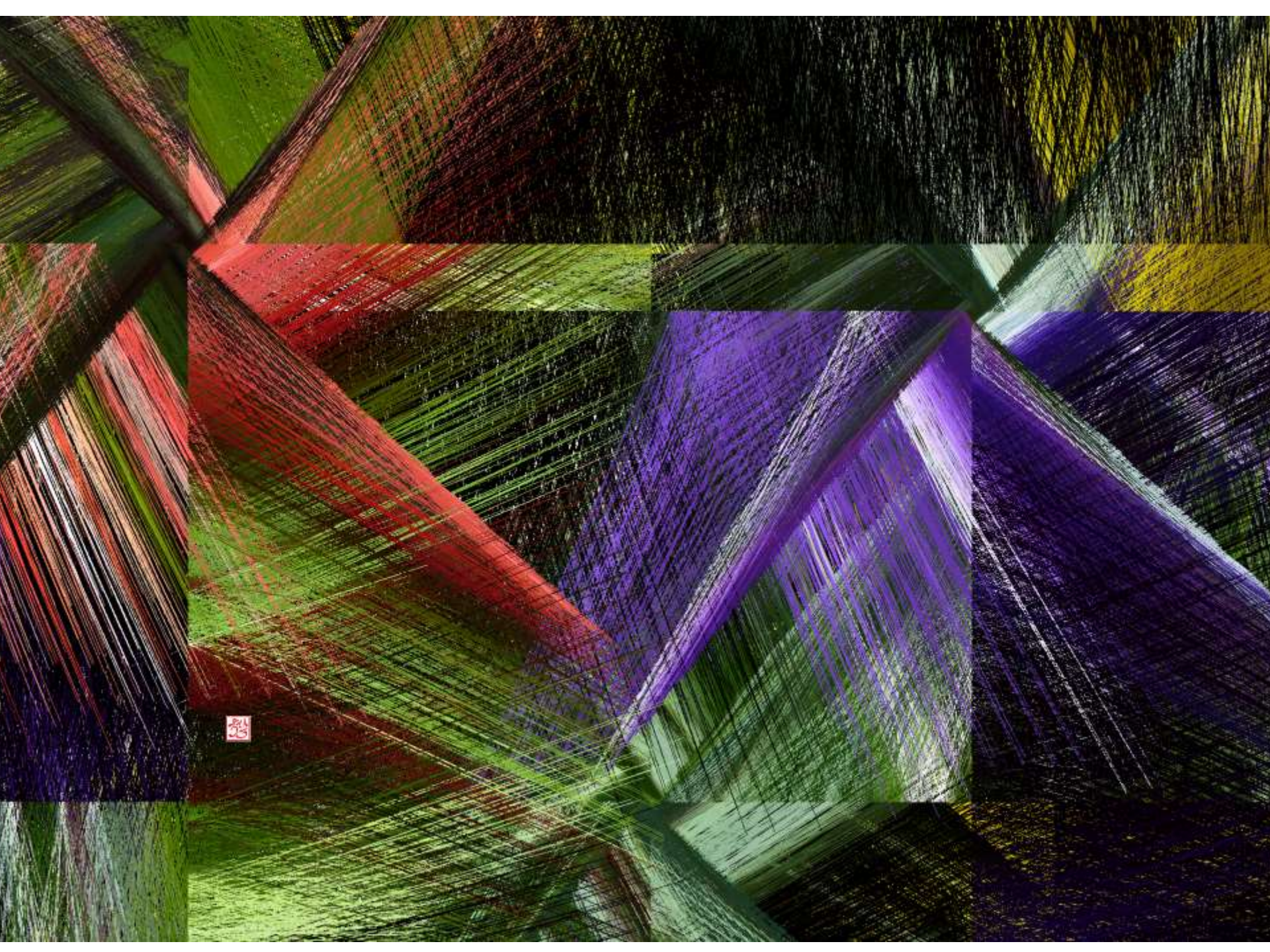
「感謝する」

- 自然に
- 神に



	忠幸	義也	明	千尋
専門性	経営、 かねづくり	編集出版、 装丁	市民政府、 まちづくり	理工学、 ものづくり
政治方向	社会派	社会派	社会派	社会派
幼い頃の 政治力	3	2	4	1
幼い頃の 統治力	4	2	5	1
幼い頃の 発信力	3	4	4	3
運動能力	2	2	3	5
金銭感覚	5	2	4	1









自然は分子が一杯、 0.00000001mm の距離で原子と原子は結合し分子を作る。

幸太郎、忠子¹⁹²⁰

忠幸¹⁹²¹

義也¹⁹²³

明¹⁹²⁶

千尋¹⁹³⁰

太平洋
戦争時代

出征、
(スマトラへ)

出征、
(特殊潜行艇)

中、高等学校 (旧制)

小、中学校 (旧制)

都立理工専門学校 機械科

都立大学 化学科

青山学院専門部 商学科

慶応大学 経済学部

東京大学 工学部 建築学科

大正デモクラシー、再臨運動の
中、内村鑑三の演説に感銘

東京大学 法学部

青山学院

青山学院

田村幸次、上海にて忠子の姉、愛子
宮大工、に事件がらみで遭遇

北地方 (仙台、相馬)
開拓に参拝
パー
ン
、
牧師への道

吉田亀太郎 (祖父):
製)

祖父を助け、教会でオルガン弾きなど、

忠幸

かねづくり、
株取引、
会社総務、記録もの
整理、モノの収集、

義也

ほんづくり、装丁
社会正義論、
書道家、
編集、出版

明

まちづくり、
不動産鑑定、絵画、
人物評価、市民政府
社会評論、執筆活動

千尋

ものづくり、
化学構造決定、毒と薬
PCのプログラミング、
音楽愛好、造形と色彩

世界第一次大戦終了1918

姓倆大異変 1920

軍拡と社会不安

関東大震災 1923

世界大恐慌 1929

満州事変 1933

日中戦争 1937

世界第二次大戦開戦 1941/12/8

東京大空襲 1942

横浜大空襲 1945/5/29

広島 巨崎百子爆弾

焼夷弾と爆弾と監察

新田切山赫ラ

食糧難と財政難

極東軍事裁判 判決 1948/11/12

中華人民共和国建国 1949/10/1

1917ca. 幸太郎NCRに就職

1920 幸太郎 忠子 結婚

田村家と社会の変遷、
子供達が教育を終えるまで

1921 忠幸 誕生 大正10

1923 義也 誕生 大正12

1926 明 誕生 大正15

1930 千尋 誕生 昭和5

1929 田村シン(幸太郎姪)

1933 玉成保母養成所にて保母資格取得

1938 青山学院：商学部 入

1937 青山学院緑ヶ岡幼稚園にて主任保母

1940 外国企業の経営停止でNCR退職、日本光音就職

1939 慶応義塾大学予科 入

1942 青学：商学部 卒

1944 幼稚園閉園で退職

1942 出征：スマトラ

1945 憲兵隊の監察

1943 出征：学徒出陣、特殊潜行艇

1944 静岡高校旧制 入

1944 日本特殊鋼に勤労働員

1945 いすゞ自動車に勤労働員

1945 除隊 帰宅

1945 日本光音敗戦で生産停止、退職、

1946 慶大経済学部 復学

1947 静高旧制 卒

1946 GHQに接收されたパークホテルで
メイドリーダーとして勤務

1946

1947~1960 矢内原忠雄の 聖書講義に
参加、幸太郎、忠子、忠幸、明、千尋

工専門学校旧制 機械科 入

1949 NCRに復職

1950 東大 工学部建築学科 卒
東大 法学部 入

1951 都立大学 理学部化学科 入

1953&4 東大 法学部 法律、政治 卒

1955 都立大 理学部化学科 卒

田村の家族たち

両親、祖父母たちの出来事 と
キリスト教

子供たちの教育期間が終わるまで

情操教育という環境因子を見る

生かされているという思い